

家族で 子育て Q&A ①9



Q 小学3年の息子は何でも器用にできますが、習い事が長続きしません。どう指導したらいいですか？

A 本人がその気にならなければ、習い事には身が入りませ
ん。急がないで待って見たらどうでしょう。

面白いことに熱中する

子供に習い事をさせるのは、積極的な動機ばかりでなく、親が共働き、友達が習い事をしていて遊べないなど、消極的な動機もあるでしょう。それでも通っているうちに、子供が面白がるようになればいいわけです。親にも、子供が熱中できるものを身に付けさせてあげたいという親心がありますよね。

でも肝心の子供が興味を示さなければ、習い事しても上の空で、やめたいと言いつつ出しても無理ありません。器用な子なので、「やめるなんてもったいな

い、もつとがんばってみたら」と説得したいかもしれませんが、やるのは子供です。馬を川まで引つ張っていても、水を飲むかどうかは馬次第という例えがありますね。

目指すものがあれば、がんばれる子もいますが、無理強いはできません。本人の興味・関心がどこに向いているのか。生活の中で面白がつてやっていることがあれば、習い事をしなくても、子供は十分楽しいかもしれません。

長所を認められるのは親

子供が試行錯誤を繰り返す

のは、悪いことではありません。やってみただけどうまくいかなかった、面白くなかったというところから、子供は何かを体験的に学ぶはずですよ。

それを元に親子で話し合うことも意味があります。その際、「長続きしない子ね」などと、がっかりした素振りはいしないでください。熱中できるものに出合っていないだけですから。

友達が習い事で表彰されたとか、英検で何級をとったとか聞くと焦る親もいますが、人それぞれですから比べないことです。子供の良さを認めてあげられるのは、親なのです。